



令和六年 睦月

# 城北中だより

## 城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和5年1月9日発行

## 努力をする人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

校長 和田 卓也

「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。」  
 静かだった学校に生徒達の声が戻ってきました。いよいよ3学期のスタートです。学校としてみれば、穏やかなスタートを切れたところではありますが、世の中に目を向けると、能登半島地震や、羽田空港での航空機の衝突事故と、いつもと違う状況や雰囲気でも過ごした年始であることは間違いのないと思います。一刻も早い被災地の復旧復興を祈念するとともに、学校においても、「想像力と準備」をキーワードとして危機管理意識を高めていきたいと考えております。



寒さに負けず自分を磨く(男子バスケットボール部より)

さて、表題の言葉は、作家の井上靖さんの言葉です。私がまだ若かった頃、新年の目標を考える場面で知って以来、この時期になるといつも頭をよぎるものです。自己実現のために自分が決めた目標なのに、いつの間にか、「やらされている」感覚に支配され、うまく行かない状況に対して不平不満を口にしていた私にとっては、この言葉はとても衝撃的でした。以後、折に触れて子供たちに伝えてきました。今でも大切にしている言葉ですし、私の教育信念の一つでもあります。

やりたいこと(夢や目標)は、やらなければならないことの向こう側にあるものだということ。不平不満を並べていても、うまく行かないことを他人のせいにしていても、夢や目標には届かないということ。学級担任を務めていた時には、この言葉の持つ深い意味を少しでも早く気づかせてあげたいという気持ちで毎日を過ごしていたように思います。今は立場こそ変わりましたが、思いは変わりません。是非、本校においても、目の前にある今やるべきことに本気になれる生徒たちが一人でも増えるよう教育活動を紡いでいきたいと考えております。小学生には難しい言葉かもしれませんが、中学生には響くかもしれない…という気持ちとともに、本校教職員が、この言葉を日常生活の中で上手に料理し、具体的な形で生徒達に味わわせてくれることを期待し、ここで紹介させていただきました。

ちなみに、今回の始業式においては、3学期の過ごし方という点で、「3学期の過ごし方」と「自立について」という内容について、具体的な例として「勉強」と「挨拶」を取り上げて話をしました。ぜひ、生徒達にはこの話をきっかけにして「希望」を語ってほしいと思っています。最後になりましたが、保護者の皆様、並びに地域及び学校関係者の皆様には、本校の教育活動に対する引き続きのご理解ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

## 7 8組 販売会 12月13・14日



7・8組の生徒による先生方を対象にした作品販売会が行われました。色合いがとても綺麗なストラップ、素敵な刺繍が施されたポケットティッシュカバー、木の温かみを感じるメモスタンド、作品の1つひとつが、とても美しく丁寧に仕上げられたおり、先生方に大盛況でした。